

第 12 回 酪農諮問委員会 実施概要

1. 開催日時：平成 28 年 4 月 27 日（水）14：00～17：30
2. 開 場：雪印メグミルク(株)本社会議室
3. 出席者

諮問委員：小泉 恒男（元標茶町農業協同組合 組合長）

黒沢 寛寿（全国酪農青年女性会議 委員長）

松尾 要治（元全国農業協同組合連合会酪農部長）

鈴木 宣弘（東京大学大学院農学生命科学研究科教授）

矢坂 雅充（東京大学大学院経済学研究科准教授）

小林 信一（日本大学生物資源科学部教授）

当 社：西尾社長、難波副社長、石田副社長、池浦常務、小坂橋取締役
（事務局 酪農総合研究所）

4. 開催内容

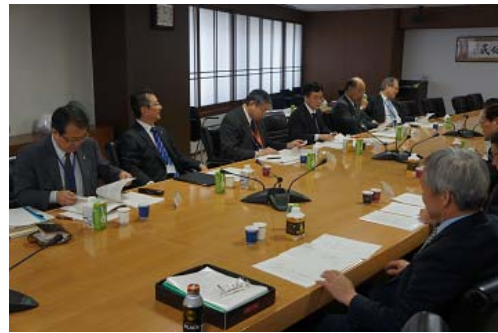
今回より新任の小泉委員をお迎えして、第 12 回酪農諮問委員会が開催されました。今年度の諮問テーマは、【農政転換期を迎えた酪農乳業の課題と今後の対応について】として、今回は特に「関連対策などの施策の方向性に対する評価」について、ご意見を伺いました。

昨年春の酪肉近代化基本方針で 10 年後の生乳生産量年間 750 万 t を維持するという目標が出されましたが、昨年秋には TPP の大筋合意、今年春には規制改革会議の指定団体制度廃止の提言が出され、酪農現場は混乱しています。そのような中、TPP 対策として酪農関係では補給金の見直しが検討されていますが、飲用向け中心の都府県では効果が限定的で実質的には北海道対策と言わざるを得ない状況にあります。

このような状況を踏まえ、指定団体制度の現状と今後の課題について、補給金制度の見直しについてどうあるべきか、TPP に関連して今後の酪農経営にどのような影響を及ぼし、日本の牛乳・乳製品市場はどのように変化していくのか、など各委員からそれぞれのご見識に基づく率直なご意見をいただき、乳業の対応についてもご意見を伺いました。



今回のテーマに対する課題認識を述べる西尾社長



新商品のボトラテも試飲していただきました